安　全　デ　ー　タ　シ　ー　ト

整理番号 TNI 00113
作成日 2005/12/1
最終更新日 2015/1/1

1. 化学物質及び会社情報

会　　社　：大陽日酸株式会社
住　　所　：〒142-8558　東京都品川区小山 1-3-26 東洋 Bldg.
担当部門　：SI 事業部　　担 当 者 ：平　　博 司
電話番号　：03-5788-8695　　FAX 番号 ：03-5788-8710
緊急連絡先：SI 事業部（電話番号 03-5788-8550）
メールアドレス： Isotope.TNS@tn-sanso.co.jp
ホームページアドレス：http://stableisotope.tn-sanso.co.jp

化学物質　　１，３－ジニトロベンゼン

製品名　　1,3-ジニトロベンゼン-$^{13}C_6$、1,3-ジニトロベンゼン-d_4
1,3-ジニトロベンゼン-$^{15}N_2$

＊ 安定同位元素で標識された化合物は、標識核種及び位置により製品名称が異なりますが、安全性データは非標識化合物と同一とみなします。従って、特に指定しない限り本シートに記載されているデータは、非標識化合物のデータを採用しています。

---

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性：	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	分類できない

	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	区分外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分 2
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入： ミスト）	分類対象外
	皮膚腐食性・刺激性	区分 3
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 1(血液) 区分 3(気道刺激性)
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1(神経系、肝臓、血液)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性：	水生環境急性有害性	区分 3
	水生環境慢性有害性	区分 3

ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 飲み込むと生命に危険（経口）
軽度の皮膚刺激

眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
血液の障害
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による神経系、肝臓、血液の障害
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害

注意書き：

【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

【応急措置】
取り扱い後はよく手を洗うこと。
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

【保管】
施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

---

3. 組成・成分情報

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単一の化合物
化学名 ・・・・・・・・・・・・・・・・	１，３－ジニトロベンゼン
別名 ・・・・・・・・・・・・・・・・・	ｍ－ジニトロベンゼン
含有量 ・・・・・・・・・・・・・・・・	９９．０％以上
化学式又は構造式 ・・・・・・	$C_6H_4(NO_2)_2$
官報公示整理番号 ・・・・・・	化審法：（３）－４４５
ＣＡＳ番号 ・・・・・・・・・・・・	９９－６５－０
国連分類番号 ・・・・・・・・・・	６．１ 毒物類（毒物）
国連番号 ・・・・・・・・・・・・・	１５９７

---

4. 応急措置

目に入った場合 ・・・・・・・・	清水で１５分以上洗浄後、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合 ・・・・	石鹸水で十分洗う。
吸入した場合 ・・・・・・・・・・	直ちに新鮮な空気の場所に移し、速やかに医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 ・・・・・・・・	直ちに医師の手当を受ける。

---

5. 火災時の措置

消火剤 ・・・・・・・・・・・・・・・・	水、粉末、泡、消火剤、二酸化炭素
消火方法 ・・・・・・・・・・・・・	水被覆による消火。

---

6. 漏出時の措置

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	飛散した周辺の関係者以外の立ち入りを禁止する。暴露防止を図り、完全な保護具を着用の上、飛散した物質を密閉できる容器内に収容し、安全な場所に移す。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・	炎、火花若しくは高温体との接近、過熱、衝撃または摩擦を避ける。局所排気設備または保護具を着用し、接触や吸入を避ける。
保管 ・・・・・・・・・・・・・・・・・	消防法、第５類危険物、法令に定める貯蔵上の遵守事項に従うこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 ・・・・・・・・・・・・・ ＡＣＧＩＨ（１９８９－９０年度版）:（皮）０．１５ｐｐｍ

保護具 ・・・・・・・・・・・・・・ 有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、労働衛生保護手袋、保護服などを使用する。

設備対策 ・・・・・・・・・・・・・ 局所排気装置を設置する。

9. 物理及び化学的性質

外観等 ・・・・・・・・・・・・・・ 特異臭のある黄色の結晶。

沸点 ・・・・・・・・・・・・・・・ ３００～３０３℃

融点 ・・・・・・・・・・・・・・・ ８９～９０℃

比重 ・・・・・・・・・・・・・・・ １．６

溶解度 ・・・・・・・・・・・・・・ 水は難溶。アルコールには溶ける。

引火点 ・・・・・・・・・・・・・・ １４９℃

可燃性 ・・・・・・・・・・・・・・ あり

爆発性 ・・・・・・・・・・・・・・ 密閉した状態で加熱すると爆発することがある。燃焼すると有毒なガスやフュームを発生する。強酸化剤、強塩基、還元性金属（スズ、亜鉛）と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。硝酸との混合物は爆発性が高い。

粉じん爆発性 ・・・・・・・・・・ 拡散した微細粒子が空気中で爆発性の混合気体を形成する。

10. 安定性及び反応性

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 混触危険性として、スズ、亜鉛などの金属、硝酸、還元剤、強酸化剤、強塩基などとの接触を避ける。

11. 有害性情報

急性毒性 ・・・・・・・・・・・・・ 腹腔内　ラット　ＬＤ５０：　５６ｍｇ／ｋｇ

経口　　ラット　ＬＤ５０：　５９．５ｍｇ／ｋｇ

12. 環境影響情報

分解性 ・・・・・・・・・・・・・・ データなし。

蓄積性 ・・・・・・・・・・・・・・ データなし。

魚毒性 ・・・・・・・・・・・・・・ データなし。

13. 廃棄上の注意

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 可燃性溶剤に溶かし、アフタバーナー、スクラバーを備えた焼

却炉で焼却する方法がよいが､許可を受けた産業廃棄物処理専門業者に委託することが望ましい。

---

14. 輸送上の注意

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。その他消防法、船舶安全法、航空法などの法令に定める輸送上の遵守事項に従う。

---

15. 適用法令

ＰＲＴＲ法 ・・・・・・・・・・・・	第２種指定化学物質
労働安全衛生法 ・・・・・・・・	名称等を通知すべき危険物及び有害物
バーゼル法 ・・・・・・・・・・・・	廃棄物の有害成分・法第２条第１項第１号イに規定するもの
航空法 ・・・・・・・・・・・・・・・	毒物類・毒物
船舶安全法 ・・・・・・・・・・・・	毒物類・毒物
外為法 ・・・・・・・・・・・・・・・	輸出貿易管理令別表第２ 輸出貿易管理令第４条第１項第２号輸入承認品目「２の２号承認」 輸出貿易管理令別表第１の１６の項

---

16. その他の情報

【参考文献】

原薬メーカーの MSDS（1992 年 11 月による）

化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会 編
The Merck Index 11 Eddtion	
危険物ハンドブック	ギュンター・ホンメル 編(新居六郎 訳)
国際化学物質安全性カード(ICSC)	化学工業日報社
SAFETY（The Sigma-Aldrich Library of chemical Safety Data Edd！）	
化学品法規制検索システム	日本ケミカルデータベース
GHS 仕様モデル SDS	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター

＊ この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。また、含有量、物理及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実

施して下さい。